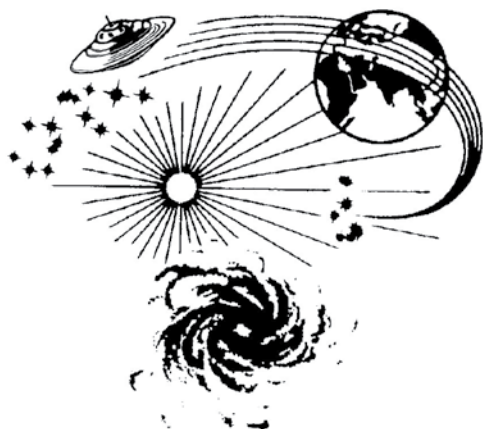


FIGU-Landesgruppe Japan



フィグ・ヤーパン通信

第 48 号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.48

発行日 2011年12月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

新刊『憎しみは人間を非人間にする』

フィグ・ヤーパン通信でも連載していましたが『憎しみは人間を非人間にする』を、小冊子として出版いたしました。この小冊子には、現代社会における様々な課題が具体的に事例を挙げて説明されており、示唆に富んだ内容となっています。



憎しみは人間を非人間にする
(水瓶座時代出版刊)

ドイツ語原文対訳

装丁：A6判

頁数：32ページ

定価：200円（税込み）

重量：24グラム

と人間性と同じように、教え込まれ、習得され、受け継がれるものなのである。まことに人間は、自分の中に衝動や本能を備えてはいても、哺乳動物やその他の動物とは異なる。なぜなら人間は基本的に自己を意識しており、自分の全行動と理念、思考、感情、そして全心性ブロックを意識的に活用および制御できるからである。攻撃と暴力にかかわる行動の事柄が遺伝子によって遺伝することはない。なぜなら遺伝子は脳がどのように行動すべきかを決定することはないからである。実際、遺伝子は単に可能性もしくは潜在性をあらかじめ規定するだけであり、これを人間自身が意識的に活用および形成しなければならないのである。それゆえ人間がどのように発展し、手本を通じて与えられる規範をどのように活用するかは、すべてその人間自身に掛かっている。悪、憎しみ、暴力、復讐、報復、殺しは人間に生まれつき備わっているものではない。人間はこれらの反価値を習得するのである。これと同じように、人間は衝動をコントロールすることを習得しなければならないのだ。それゆえ人間がどれほどの強さで愛を、または攻撃、憎しみ、復讐を、または平和、自由、喜びおよび調和を発展させるか、そしてフラストレーションや失望または幸福や健在を処理するかは、ひとえに人間の手の中にある。

（『憎しみは人間を非人間にする』より）

今日の時代でおそらく最大の害悪は、家庭内、若者の間、そして多くの人間の間で総じて暴力と攻撃が急増していることであるが、これは脳構造の損傷とはほとんど関係がない。事実、すべての暴力および攻撃は、両親やその他の親権者による教育の欠如によって、あるいは社会的に誤導された同僚、友人、知人などとの付き合いによって習得されたものである。つまり攻撃や暴力はまさに、愛と共感、親切心

第 519 回公式会見記 (2011 年 4 月 2 日土曜日) からの抜粋

ビリー：……それは好都合だ。というのも幾つか言いたいことがあるからだ。日本で巨大な海底地震によって福島原子力発電所でも大きな被害が発生し、それ以来放射性粒子が流出して非常に広範囲に拡散しているので、若干の化学元素の放射能について何か言わなければならないと思ったのだ。ほとんどの人間は放射性物質と関わっておらず、したがって半減期による崩壊とも関わりがないので、一度この問題を理解するために取り上げて詳しく説明したい。私は原子物理学者ではないが、自分が学んだことは説明できると思う。私の話は素人っぽく聞こえるかもしれないが、肝心なのは放射性物質の半減期の基本的な特徴を理解してもらうことで、それは私が詳しく説明することによって可能なはずである。種々の放射性核種からなる放射性物質の半減期 $T_{1/2}$ とは、最初に存在している大量の放射性核種が半分に崩壊する平均時間である。半減期の値はそれぞれの核種 (同位体) について固定している。

たとえば半減期が 30.17 年のセシウム 137、16 グラムを例にとると、30.17 年後には半分の 8 グラム、60.34 年後には 4 グラム、90.51 年後には 2 グラム、120.68 年後には 1 グラム、150.85 年後には 0.5 グラムに減少し、そのあとも 30.17 年経つごとに半分に減り、最後には完全に消滅する。放射性核種についてももう少し広く見渡すために、以下に一連の放射性核種 (核種=同位体) とそれらの半減期をまとめる。

化学元素	半減期
¹²⁸ Te テルル	約 7×10^{24} (7 稔) 年
⁸² Se セレン	約 1.08×10^{20} (1 垓 800 京) 年
²⁰⁹ Bi ビスマス	約 1.9×10^{19} (1900 京) 年
²³² Th トリウム	140 億 5000 万年
²³⁸ U ウラン	44 億 6800 万年
²³⁵ U ウラン	7 億 400 万年
²³⁴ U ウラン	2.46×10^5 年
⁴⁰ K カリウム	12 億 7700 万年
¹²⁹ I ヨウ素	1570 万年
²³⁷ Np ネプツニウム	214 万 4000 年
⁹⁹ Tc テクネチウム	2.11×10^5 年

²³⁹ Pu プルトニウム	2 万 4110 年
¹⁴ C 炭素	5730 年
²²⁶ Ra ラジウム	1602 年
²⁴¹ Am アメリシウム	432.2 年
²³⁸ Pu プルトニウム	87.74 年
¹³⁷ Cs セシウム	37.17 年
⁹⁰ Sr スترونチウム	28.78 年
³ H トリチウム	12.32 年
⁶⁰ Co コバルト	5.3 年
³⁵ S 硫黄	87.5 日
³² P 燐	14.3 日
¹³¹ I ヨウ素	8.02 日
²²² Rn ラドン	3.8 日
²²³ Fr フランシウム	22 分
²¹⁹ Th トリウム	1.05 マイクロ秒
²²³ Th トリウム	0.6 秒
²³² Th トリウム	141 億年
²⁰⁸ Po ポロニウム	2.898 年
²¹² Po ポロニウム	0.3 マイクロ秒
⁸ Be ベリリウム	6.7×10^{-17} (100 京分の 67) 秒
¹¹ Be ベリリウム	123.81 秒
⁷ N 窒素	9.96 分
⁹⁰ Y イットリウム	64 時間
⁶⁰ Fe 鉄	260 万年

プター：これらのことを話題にするのは良いことだと思う。これに通じている地球人はそう多くないからだ。

ビリー：私もそう思って説明したわけだ。しかし日本の大災害で私の気になるのは、内陸地震と海底地震はこの先どうなるのかということだ。というのもこれまでひっきりなしに約千回も余震が起きていて、その強さは最大でマグニチュード 6.4 に達するからだ。

プター：すべてまだ数か月は続くだろう。目下、環太平洋火山帯は非常に活発だからだ。そのため再び強い海底地震や内陸地震が発生するだろう。だが、福島原子力発電所の災害に関して言えば、これまで

のところは25年前にチェルノブイリで起きた大事故よりもはるかに悪い。我々の調査と計算によると4月7日から8日にかけて再びマグニチュード7.4という強い海底地震が起こるだろう。短期の予視によれば、東北地方の女川にある別の原子力発電所で3基の原子炉に新たな被害が発生して放射能が漏れるだろう。それから軽度の余震が続いたあと、4月11日にまたもやマグニチュード7.1の強い海底地震が発生するだろう。これらの強い地震は余震ではなく新しい本震であり、それはまた数多くの余震を伴うだろう。日本に住む人間にとって非常に喜ばしくない年月が続くであろう。特に将来は首都東京も大きな破壊の危険が迫る。なぜなら東京は今のところ落ち着いている地震巣の上に築かれており、アメリカの都市サンフランシスコと同様に大きな脅威に曝^{さら}されているからである。

ビリー：そこに住んでいる人間にとって喜ばしいことではない。だからと言って簡単に別の場所に移ることも残念ながらできない。人口が多すぎるからだ。東京には現在3600万人以上住んでいるが、サンフランシスコも人口が密集している。

プター：残念ながらなにもできないと言うのはその通りだ。しかしまた地球人はきわめて無分別だと言わなければならない。と言うのは、それほど多くの人間が住む都市を造ることは許されまいからだ。だが異常な人口過剰のために、人間を大量飼育する動物のように押し込める以外に可能性は事実上ない。

ビリー：砂漠や山地やジャングルは簡単に住めない。砂漠はまず耕作できるようにしなければならないし、山地は特定の高さまでしか人間には住めない。しかも原始林などの森林は保存しなければならない。それらは地球の肺であり、すべての生命形態に必要な酸素を供給するからだ。

プター：これは地球人にも知られていることなのだが、それでも彼らはますます多くの原始林やその他の土地を破壊し、人間や哺乳動物やその他の動物が生きるために絶対に必要な草地と沼沢地も大規模に破壊している。

ビリー：この惑星に住む人間が増えれば増えるほど、住んだり工場などを建てたりするための場所がますます多く必要となるという一事によっても自然は一層破壊されるのだ。しかもそれだけではない。自然は乱作や化学物質、あらゆる種類の排気ガス、その他多くの事物や狂気の沙汰^{さた}によって破壊されているのだ。しかしまた地球の人間自身もそれによって苦しみを受ける。なぜなら彼らはその破局的な開発によってあらゆる種類の病気や疫病にかかりやすくなるからだ。それは抵抗力を失い、免疫系が次第に弱くなるためである。それが長く続けば続くほど共属性や共同体および人間の健全な相互関係に対する意識もますます失われる。同様のことは子供によってももたらされている。子供たちはとんでもない誤った教育によってひねくれた人間に育てられ、その結果として残忍になり、弱い者いじめをし、さらには殺人に至ることも稀ではない。これに対して裁判官は彼らを腫れ物にでも触るかのよう扱い、明らかな謀殺も単なる故殺として、酒酔いやバイクの暴走や薬物摂取による殺害として、あるいは単なる過失致死として軽い判決を下す。したがって過ちを犯した者は（青少年も大人も）穏便に扱われて軽微な罰だけで済み、場合によっては罰金刑か執行猶予のことさえある。しかし同じようなことは通常の処罰でも見られ、自称〈人道性〉を理由にますます気の抜けたものになっている。計画的な殺人か故意の殺人を犯した殺人者でさえ、ばかばかしいほど軽い罰で済まされるのだ。

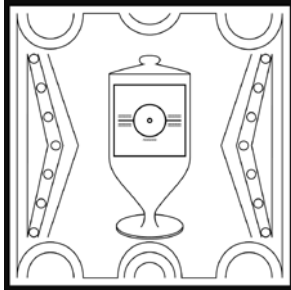
プター：君が人口過剰と自然の破壊について言うことは一言一句正しく、子供の誤った教育と墮落についても、完全に誤った人道主義に基づくあまりに気の抜けた刑罰についてもまったくその通りだ。

ビリー：残念なことにたいい宗教か教派の影響を受けた似非人道主義者がますます幅を利かせている。しかし他方で同じ似非人道主義者が変節して墮落すると、即刻死刑を要求する。なぜなら彼らは「目には目を、歯には歯を」のみが〈人間的に〉正当化されるという宗教的または教派的な妄想を抱いているからである。

プター：くつがえすことのできない事実である。

(出典：FIGU 特別公報 62 号)

真理の杯(暫定訳)



真理の杯のシンボル

〈真理の杯〉には次のように書かれている。

つねに愛と平和に生き、
地球上に自由と調和を育み、
けっしてまことの真理を忘れてはならない。
あなたがたの人生が絶えず良いものであるように努め、
真の創造的存在として生きなさい。
〈真理の杯〉はあなたがたを呪詛^{じゆそ}ではなく
ひとえに祝福へと呼び起こすだろう。

セムヤーセ・シルバー・スター・センター
2008年7月13日、3時21分
ビリー

根源力(創造)の法則と勧告の真理の名において

第 1 章

1) これは〈真理の杯〉である。すなわち、あなたがたが産出(創造)の法則と勧告および外観(自然)に精通して、生命の規則と価値を実現し、生存を愛と平和と自由に、そしてまた和合(調和)と英知に導くことができるように、ノコデミオン以来新時代に至るまで計7人の告知者・預言者によって授けられた言葉と指針である。

2) あらゆる生命の分娩(創造)とその法則と勧告を、あなたがた(人間)が果たす義務としなさい。

そうすることによってのみ真理の知識が英知となって、内界(意識)が増大(発展/進化)するための香油(精髓)が生じるから。

3) 根源力(創造)の法則と勧告のみが、あなたがた(人間)が自分の人生を形づくって実現するのを援助する。それゆえあなたがたのだれも産出(創造)の秩序と法則と勧告に反する法則を考え出したり、それらを裁断したりして、自身の福利を害するようには変えてはならない。

4) あなたがた(人間)のうちで繁栄をかなえさせ、あなたがた自身のうちに不興を生じさせることなく〈真理の杯〉に生きなさい。真理、すなわち現実の認識の確かさに従って生きなさい。

5) 惑わされて産出(創造)の法則と勧告に悪態についてはならない。そのような行いは公正と結ばれている者(正当な者/責任ある者)のあいだで拒絶を招くからである。すなわち不公正(不義)は〈真理の杯〉とは相容れない。

6) 祈りは自分の内界(意識)にたいしてのみ語られるべきである。なぜなら内界(意識)は、言葉と思念を通して〈真理の杯〉によってもたらされるものへと発展するように形成されるからである。

7) 人生の意義を満たして、害悪と不正に沈み込まないように、自分の内界(意識)の増大(発展/進化)は〈真理の杯〉から出発して、ひたすら知識、真理と愛、平和と自由、そしてまた和合(調和)と英知に仕えるべきである。

第 2 章

1) これは真理と公正(正義)と英知の名において、根源力(創造)の多くの法則と勧告を開示する教え

であり、そこに疑いはない。この教えは人生を送るための規範（道標／指導理念）である。

2) 見えざるもの（無意識なもの）に精通している者、告知者・預言者によってあなたがたに開示された義務を果たす者、そしてその結果に確固たる信を置く者は、まさしく公正（正義／責任）に生きる者である。

3) 見えざるもの（無意識なもの）に精通している者、すでに古代にあなたがたに開示された根源力（創造）の法則と勧告に精通している者が、外観（自然）と造形（創造）によって授けられたものを伝えるなら、かれらはそのようにして公正（正義）をなす。そのようにする者は預言者の指導に従い、順調に行くだろう。

4) あなたがたのなかで無知な者には、警告しても警告しなくても同じである。なぜならかれらは知ろうとはしないからである。

5) あなたがたの感覚、悟性、理性、心、耳がすべて閉ざされ、あなたがたの目に覆いがかかっているならば、それによってあなたがたは自分自身に重い罰を加える。

6) あなたがたの若干の者は知識および真理と結ばれていると言うが、実のところ知者ではない。

7) かれらは告知者・預言者や知者を欺きたがる。しかしかれらは自分自身を欺いているにすぎないのだが、かれらの悟性はこのことを理解するのに十分ではない。

8) かれらの感覚には病気が巣食っており、誤った行いと嘘によりその病気は増殖した。

9) かれらは、丸い地球の上に不穏を引き起こすべきではないと言われると、自分たちは平和を促進する者だと嘘をつく。

10) かれらは、真理に精通して愚か者のように信じ

込むべきではないと言われると、反論する。だからかれらに用心しなさい。かれらは自分が愚か者であることを知らないから。

11) かれらは知者と出会うと、自分も知識があると嘘を言う。しかし悪の首謀者と出会うとこれにへつらって、自分も首謀者と同じ意見であり、知者をからかっているだけだと嘘を言う。

12) かれらはそのからかいによってみずから罰を受ける。なぜならかれらは自分自身を不埒なままにしておくからである。それはかれらが眩惑されて誤った道を進んでいるためである。

13) かれらは真理によるまことの指導と引き換えにかれらを支配している愚かさを手に入れた。かれらはみずから道に迷い、その行動はかれらにいかなる利益ももたらさないからである。

14) かれらは自分のまわりに火を吹き、周囲が明るくなったら火を消して光を取り除く男に等しい。するとかれらは前よりも深い闇のなかに座り、もはや何ひとつ見ることができない。

15) かれらは耳が聞こえず、口がきけず、目が見えないので、真理を見いだすことはないだろう。

16) あるいは、かれらはまるで暗闇と雷と稲妻をはらんだ厚い雲から振る雨のなかにいるようなもので、雷鳴を死ぬほど恐れて耳を手で塞ぎ、たとえ稲妻が落ちようともこの荒天は自分にはいかなる危害も及ぼすことはあるまいと信じるのである。

17) 稲妻が頭上で光るたびにかれらはほとんど失明し、その光のなかをさまよい歩く。そして稲妻が消えると頭上は暗くなり、かれらはみな黙って立ちつくし恐れる。もし可能であれば不安から逃れるために自分の聴覚、目、そして顔を手離そうとするだろう。

18) あなたがた（人間）は真理と創生（創造）に向かいなさい。あなたがたは、あなたがたより前に存

在したすべてのものと同様、創生（創造）の偉力から生み出され創り出されたのである。あなたがたが公正（正義／責任）に値する者となるように真理に向かいなさい。

19) あなたがたはまことの真理とのみ結ばれているべきである。なぜなら正しい事柄はすべて真理によってのみ栄え、成功につながるからであり、本当の真理だけが愛に包まれた人生の道標（指導理念）だからである。

20) 真理だけがあなたがたの祝福につながる道である。道に迷って真理を否認し、あるいは宗教的な信仰と置きかえる者たちの虚偽は周囲に不興を引き起こす。

21) あなたがたが生きなければならない真理は完全である。なぜなら真理は根源力（創造）とその外観（創造的自然）によって与えられ、いかなる疑いもないからである。

22) まことの真理は、あなたがたが自分のなかでみずからの信仰と理解に従って自身の特徴（個性）で作りに出した個人的な真理と等値されたり、比較されたりしてはならない。

23) 真理は現実において証明可能なものとして与えられているのにたいし、信仰は見えざるもの（無意識なもの）や真なるものと誤って思い込んだ証明不能なものに縛りつけられている。

24) あなたがたは現実の真理があなたがたに開示したもの、および開示するものを知るべきである。あなたがたは真理が将来あなたがたにもたらすものに確固たる信を置くべきである。

25) 真理の指導に従う者はまことの知者であり、そうすることによってかれらは順調に行くだろう。

26) まことの真理を知らず、信仰に縛られている者たちよ。あなたがたには虚偽について警告しようとするまいと同じである。あなたがたにとってまことの

真理よりも信仰のほうが重要なことから。

27) 信仰や知ったかぶりや敵対心によって真理と疎遠な者たちよ。あなたがたの理性と悟性は封印されており、あなたがたの耳は聞こえず、あなたがたの目は見えず、あなたがたの感覚は覆いに包まれている。そのためあなたがたの人生は厄介であり、絶えず罰におびえている。

28) 創生（創造）によって立てられた創生（創造）とあなたがたとのあいだの契りを破り、これと結びつける勧告によって生み出された契りを寸断するならば、あなたがたは地球上に不和をもたらし、そして敗者となるだろう。

29) あなたがたはどうして形成（創造）を否認できようか。あなたがたは形成（創造）によって自分たちの生命を得たのであり、形成（創造）があなたがたに生命を与えたのだから。形成（創造）はあなたがたを死なせもするが、長い時間を経たあとでつねに新しい人物において再び生命を与え、あなたがたは遠い未来にあなたがたに戻る。

30) 形成（創造）は、その偉力によってあなたがたのために地球上のあらゆるものを創り出し、天空（宇宙）と地球にあるすべてを完成させた。

31) 形成（創造）はあなたがた（人間）を地球上の名代として任命した。あなたがたはあなたがたと同等のもの（人間）を、地球上に不和をもたらし、血を流す目的に使ってはならない。

32) あなたがたの若干の者は真理を知っており、真理と結ばれていると称しているが、かれらは無意識のうちに嘘におちいっており、たんなる信者であって、真理を欺こうとする者である。

33) あなたがたは、根源力（創造）の法則と勧告および外観（自然）の法則によって修得できるもの以外に知識を持たない。なぜならあなたがたの思念と感情もそれらによって条件づけられているからである。

34) 真の告知者・預言者は天空（宇宙）と地球（世界）の多くの秘密を知っており、産出（創造）の法則と勧告および外観（自然）の法則が開示するものに精通している。しかし真の告知者・預言者にとっても、発生（創造）そのものは測り知れない秘密である。

35) あなたがたのなかで信仰によって真理を欺く者は、自分自身を欺くにすぎないのだが、このことはあなたがたの悟性を越えている。というのもあなたがたはそれを理解できないからだ。

（出典：真理の杯）

フィグ・ヤーパンからのお知らせ

□ 『真理の杯』 翻訳状況のお知らせ □

読者の皆様には、『真理の杯 (Kelch der Wahrheit)』の翻訳活動のために多大なるご支援をいただきありがとうございます。翻訳そして校閲状況についてお知らせいたします。

現在、翻訳者により第23章まで翻訳が完了しており、残りの翻訳は第24～28章の5章を残すのみとなりました。また校閲者により、現在第1～20章を校閲作業中です。

『真理の杯』原文の特に前半部分においては、ドイツ語の古い言い回しが多く、一般の辞書には掲載されていないようなドイツ語表現も頻出しています。翻訳者、そして校閲者は難しい作業を、時には原著者のビリーに問合せしながら、一步一步進めている状況です。

このまま順調に作業が進められても、出版は2014年頃となってしまう事が予想されます。そこで、読者の皆様になるべく早く内容を公開するため、翻訳者の訳出原稿を校正した暫定版を、フィグ・ヤーパン通信やホームページ上にて公開する事を決定しました。なお、FIGUスイスにおいても、本書は出版に先だって内容がホームページ上に公開されており、異例の扱いになっています。

『真理の杯 (暫定版)』の公開は来年1月頃を目標として、現在公開に向けて準備作業をすすめております。最初に公開する章は、1～3章を予定しております。さらに、それ以降の章も準備ができ次第随時公開する予定です。

書籍としての『真理の杯』の出版までには、しばらく時間がかかる事が予想されます。出版まで今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。また、引き続き翻訳出版に向けてご支援下さいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

□ 読者訪問について □

フィグ・ヤーパンでは、読者の皆様からのご質問等に直接お答えする読者訪問を設定しています。フィグの活動や書籍の内容など、フィグに関することであれば、お話になりたいことは読者の皆様に自由にお決めいただけます。会談は、フィグ・ヤーパン事務所（奇数月の第3日曜日のみ）または、都合の良い場所にて実施します。ご希望の方は、住所、氏名、連絡先電話番号を添えて、フィグ・ヤーパン事務所まで郵送またはFAXにてお申し込み下さい。その際に、希望の場所とお話になりたいことについてもお知らせ下さい。

なお、読者訪問日はすべて無料で実施され、フィグ・ヤーパンによる書籍の販売等を含む勧誘行為等を目的としたものではありません。また、フィグ・ヤーパンでは、個人の悩み事相談等は行っておりません。申し込みいただいた内容によっては、ご希望に添えないことがあります。

□ 翻訳出版ご支援のお願い □

フィグ・ヤーパンでは、本書の翻訳活動を円滑に進めるため、読者の皆様からのご寄付を受け付けています。ご賛同いただけます際には、同封の郵便振替用紙をご利用の上、「出版支援」とご記入下さい。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

□ 被災された読者の皆様へ □

フィグ・ヤーパンでは、東日本大震災によって書籍類を損失された読者を対象に、これまでお求めになられたものと同等の書籍類を無償でお送りしています。該当する被災地の読者の方がいらっしゃいましたら、フィグ・ヤーパンまでお気軽にご連絡下さい。2012年3月まで受け付けています。

出版物のご案内

- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)
価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(3)
価格 2,000 円 (税込 送料別 335 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(4)
価格 2,000 円 (税込 送料別 430 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)
価格 2,000 円 (税込 送料別 395 グラム)
- 宇宙の深遠よりープレアデス／プレヤール人とのコンタクト
価格 3,000 円 (税込 送料別 765 グラム)
- 心
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- 瞑想入門
価格 3,200 円 (税込 送料別 815 グラム)
- わずかばかりの知識と知覚そして知恵(文芸社刊)
価格 2,400 円 (税込 送料別 845 グラム)
- アラハト・アテルサータ
価格 2,800 円 (税込 送料別 700 グラム)
- 生命の哲学
価格 1,000 円 (税込 送料別 150 グラム)
- 日本語版 水瓶座時代の声
価格 各 1,000 円 (税込)
83/1 号(特集) (送料別 140 グラム)
83/2 号(特集) (送料別 105 グラム)
87/1 号(特集) (送料別 140 グラム)
91/1 号(特集) (送料別 135 グラム)
- 第 235 回会見
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 霊と肉体における生
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- ビリーの少年時代の著作
価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
- 預言者エレミヤとエリヤの予告
価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)
- **憎しみは人間を非人間にする** **新刊!!**
価格 200 円 (税込 送料別 24 グラム)
- 『連想／真理の杯』(DVD:FIGU-JAPAN講演会2009ビデオ)
価格 3,000 円 (税込 送料別 94 グラム)

※ このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧いただくか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

□ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

□ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円	500 グラムまで 290 円
100 グラムまで 140 円	1000 グラムまで 340 円
150 グラムまで 180 円	2000 グラムまで 450 円
250 グラムまで 210 円	3000 グラムまで 590 円
※4,000 円以上お買い上げの場合、 <u>郵送料は無料</u> です。	

□ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758
 加入者名：FIGU-JAPAN
 (アルファベットで記入して下さい)
 金額：送料を含めた合計金額
 払込人：あなたの住所、氏名、電話番号
 通信欄：購入する書籍名と冊数

フィグ・ヤーパン通信 第 48 号 (無料)

発行日 2011 年 12 月 1 日
 発行 フィグ・ヤーパン(FIGU-Landesgruppe JAPAN)
 住所 〒192-0916
 東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305
 電話 042 (635) 3741
 FAX 042 (637) 1524
 URL <http://jp.figu.org/>
 E-mail info@jp.figu.org
 郵便振替 00160-4-655758
 加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製すること、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2011 by FIGU-Landesgruppe JAPAN. All rights reserved.